

NEWS RELEASE



【報道関係各位】

2016年5月11日
一般財団法人 日本気象協会

日本気象協会、新・衛星推定日射量サービス「SOLASAT 8-Now」を提供開始 ～ひまわり8号のデータで従来と比べて4倍の解像度に～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：縄野 克彦、以下「日本気象協会」）は、高解像度・高頻度の衛星推定日射量を配信するサービス『SOLASAT 8-Now（ソラサットエイトナウ）』の提供を5月11日（水）から開始します。

衛星推定日射量は、気象衛星ひまわりが観測したデータを活用して、地上の日射量を推定する技術です。『SOLASAT 8-Now』は、2015年7月から観測を開始した気象衛星「ひまわり8号」の詳細な観測データを活用しています。本サービスは日本気象協会が提供していた従来の「SOLASAT-Now」の4倍の解像度（500メートルメッシュ）（図1）、12倍の更新頻度（2.5分間隔）（図2）で、日射量を推定することが可能になりました。この技術をもとに、2.5分ごとの推定日射量を観測から10分程度で提供します。

日本気象協会は、今後も気象状況によって変動する太陽光発電出力に対して、本サービスの提供により電力需給の安定運用に貢献していきます。

なお、本サービスは、大手電力会社における太陽光発電出力の把握や電力需給運用に資する情報として採用されています。

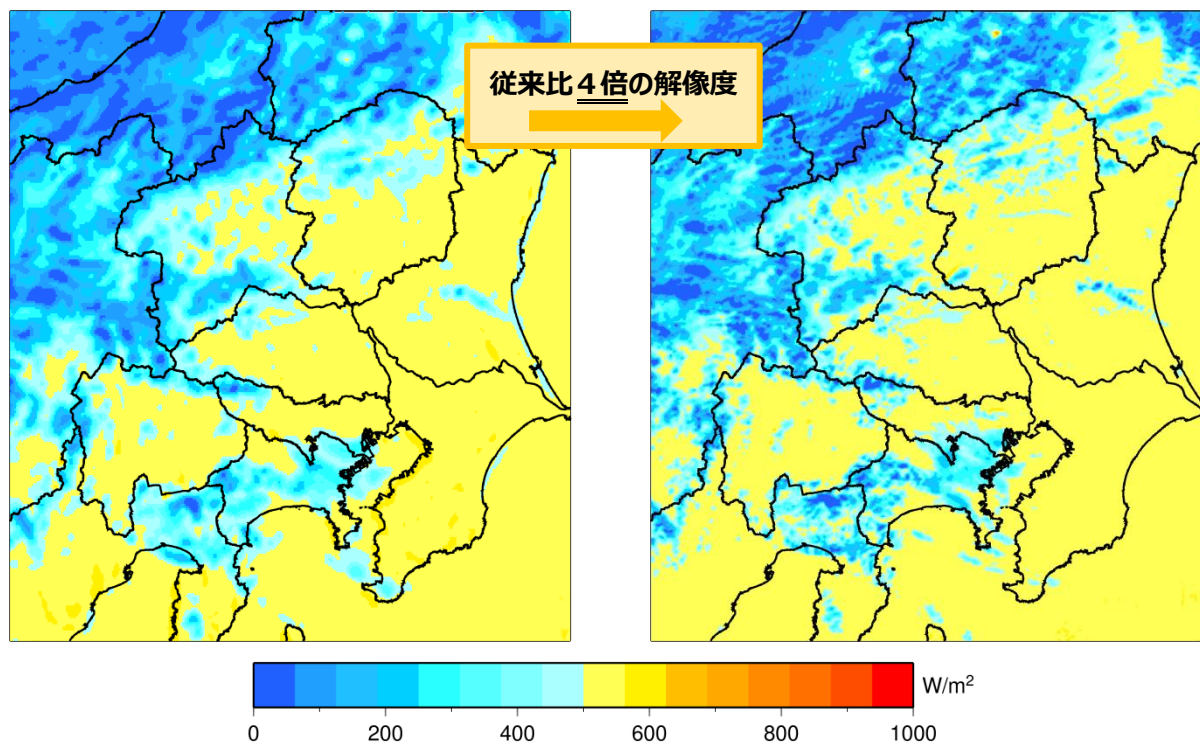


図1 SOLASAT-Now（左）と SOLASAT 8-Now（右）における日射量分布図の例

1. 提供内容

『SOLASAT 8-Now』は、気象衛星「ひまわり8号」の詳細な観測データをもとに、2.5分間隔で日射量を推定し、日本全国任意地点の日射量情報をオンラインで提供するサービスです。500メートルメッシュで雲や地表面の状況がわかるため、より詳細な日射量の推定が可能です。

太陽光発電所地点単位、電力エリア単位（全国10エリア）での太陽光発電出力の現在値の把握や実

績管理の基本情報として活用可能です。

2. SOLASAT 8-Now のサービス概要

(1) サービス内容

データ内容	現在の推定日射量[W/m ²]
空間解像度	500メートル
配信間隔	2.5分
発表時刻	観測から10分後程度
対象時刻	4時～20時
提供方法	オンライン配信

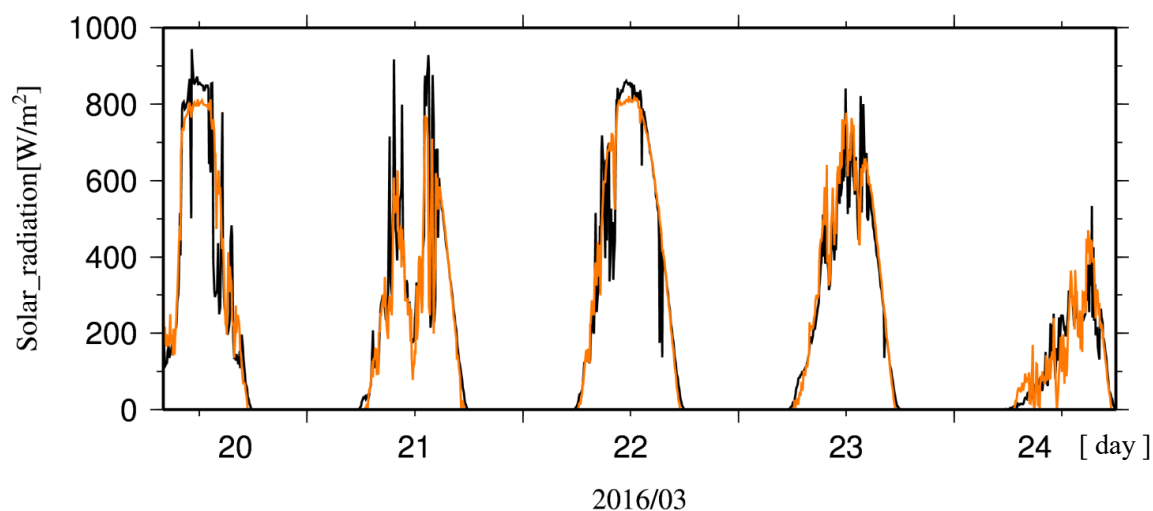
(2) 特長

- 現在の推定日射量を2.5分間隔で、地点・電力エリア単位で把握することが可能
- 推定日射量は、全天日射量（地点・電力エリア）や傾斜面日射量（地点）の要素で利用可能
- 気象衛星観測から提供までの時間がこれまでの30分から10分程度に短縮
- オンラインで推定日射量の情報ファイルを提供

(3) サービス活用例

利用用途： 電力需給運用における太陽光発電出力のリアルタイム把握

内容： 『SOLASAT 8-Now』により、電力エリアにおける地表での日射量を面的かつリアルタイムで推定可能です。同データを用いて、太陽光発電出力を高精度で把握することで、より安定的な需給運用に活用いただけます。



(— : 日射量観測値[W/m²]、— : 日射量推定値[W/m²])

図2 「SOLASAT 8-Now」における2.5分ごとの日射量時系列図（東京）の例

以上